

○議長（小林哲雄）

日程第5 議案第24号 平成26年度開成町一般会計補正予算第1号についてを議題といたします。予算書の説明を順次担当課長に求めます。

財務課長。

○財務課長（田中栄之）

それでは、1ページ目をお開きください。

平成26年度開成町一般会計補正予算（第1号）。

平成26年度開成町一般会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。第1条、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ44万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ49億6,527万1,000円とする。

2、歳入歳出の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

平成26年6月27日提出、開成町長府川裕一。

1ページおめくりください。第1表、歳入歳出予算補正です。歳入第19款諸収入のみとなります。

右のページ、歳出です。第2款総務費から、第13款予備費の全3款につきまして、総額44万2,000円を増額補正するものです。

それでは、補正予算の詳細を歳入歳出予算事項別明細書により説明をいたします。

10ページ、11ページをお願いいたします。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

歳入です。19款諸収入、4項雑入、1目雑入、7節消防費雑入です。説明欄1、消防団員等公務災害補償等共済基金損害補償費です。これは平成25年3月に牛島で発生した建物火災の際に、特設第一分団の団員が消火活動中に負傷し、公務災害が認定されました。

歳出の災害補償費に見合った額が、消防団員等公務災害補償基金から入金されるための補正をするものです。

続いて、説明欄2、平成26年度分、防災ラジオ売払い代です。平成26年度分の防災ラジオの申込件数が333台でございました。当初予算で防災ラジオ売払い台を100台見込んでいたため、差し引いた額の233台分の個人負担金1,000円を掛けた額を補正させていただくものです。

12、13ページに移らせていただきます。

○財務課長（田中栄之）

それでは、歳出に移らせていただきます。2款総務費、1項総務管理費、4目財産管理費、説明欄1、庁舎整備事業費、庁舎整備基本構想等策定委員報酬（10人）でございます。

こちらは去る5月26日に開われました平成26年第1回開成町議会定例会5月

会議に提案いたしました、開成町庁舎整備基本構想等策定委員会条例の制定及び開成町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正につきまして、可決をいただきましたことから、規定の金額につきまして、当初予算では報償費として計上してございましたものを、報酬に組み替えるものでございます。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

6目諸費、工事請負費、説明欄、地域防犯力向上事業費、県道山北開成小田原線防犯灯整備工事でございます。

6月4日に開通した県道山北開成小田原線の牛島交差点から南部コミュニティセンターまでの間は、道路交差点に道路照明があるだけで、長い距離暗い状態です。安全確保のため、牛島交差点から南部コミュニティセンターまでの間の東側の歩道に防犯灯を設置させていただくものです。

○税務窓口課長（鳥海仁史）

続きして、第2款総務費、第2項徴税费、第2目賦課徴収費、23節償還金利子及び割引料、説明欄1、経常的一般管理費、税等還付金380万円の計上でございます。こちらにつきましては、当初予算で550万円ほどの予算を承認いただいておりますが、既に本年の5月までの段階で、500万ほどの執行の予定が入ってきておりまして、このため、年間を通じてのこちらの予算の執行が不可能になることが十分に予想されましたので、今回、特に突出して、1社の法人税額が380万円ほどの還付が発生してございます。こちらの分につきまして、そのものを380万円を補正をさせていただくものです。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

次に8款消防費、1項消防費、2目非常備消防費、5、災害補償費です。説明欄1、消防団員等活動推進事業費、災害補償費、歳入で説明をさせていただきました、平成25年3月に発生した火災の際の消防団員のけがの治療が完治したことによりまして、その補償費に充てるものです。

5目災害対策費、需用費、説明欄1、情報伝達体制強化事業費です。消耗品、これは防災ラジオの申し込み数が333台から在庫分の59台を差し引いた274台を購入するため、防災ラジオ購入費から当初予算を差し引いた金額を補正するものです。

次に、12役務費、通信運搬費、防災ラジオの納付書輸送料について、当初予算では、100台分のみを計上しているため、不足分の233台分に充てるものです。

14ページをお開きください。

○財務課長（田中栄之）

13款予備費です。今回の補正による歳入歳出差し引きの不足額を予備費683万8,000円の減で調整をいたします。説明は以上です。よろしくご審議をお願いいたします。

○議長（小林哲雄）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑をどうぞ。

2 番、高橋久志議員。

○ 2 番（高橋久志）

2 番、高橋です。ちょっと確認を含めて質問させていただきたいのは、16 ページの特別職のこの表が出されております。職員数は変わりはないと思うんですが、私の質問は、期末手当の関係でございます。ご承知のように、5 月の会議、5 月 26 日から行われましたけれども、町長等の期末手当の特例に関する条例の一部改正、これが可決、成立をしており、交付の日から施行になっていると、こういう状況でございます。金額的に 26 万 9,917 円、今回、この補正予算の中に、この数字の関係が当然載ってくると私は認識をしたんですが、この一覧表にはそういう状況がないので、どういう形に、この期末手当の町長等の減額が出てくるのかなと、この辺の説明をお願いしたいなと思っております。

それから、もう一点、13 ページの中ほどに、防犯灯の関係で、県道山北開成小田原線防犯灯整備工事、ご承知のように、6 月 4 日にこれが開通したわけですが、開通間もなく交通事故が発生して、町民の方からどうなっているんだというご批判を受けたところでございます。牛島地域の関係、地域からの要望が出ていたと思うんですが、信号機の設置等、こういったものがきちんと整備されている段階で、これとは防犯灯との関係はございませんけれども、その辺が今後、信号機の設置等含めてどうなっていくのかという、町民からの質問を受けておりますので、この件をあわせて関連的に質問させていただきたいと思います。

○議長（小林哲雄）

行政推進部長。

○行政推進部長（石井 護）

それでは人件費の関係につきまして、私のほうからお答えさせていただきます。

5 月 26 日の三役につきまして、慣例といいますか、議員のおっしゃる部分も一理あるかと思えますけれども、いつも 12 月に人件費についてはまとめて予算の補正を行っているということですので、今回も 12 月にまとめて行うということでご理解いただきたいと思います。期末手当。

○議長（小林哲雄）

町民サービス部長。

○町民サービス部長（山本 靖）

それでは、高橋議員の後半の部分、信号機の関係ですけれども、これにつきましては、町のほうでも危険箇所ということで要望しています。まだ、確約はとれていませんが、今年度中に信号機を設置していただける予定ですので、県からは話を伺っています。

以上です。

○議長（小林哲雄）

高橋議員。

○ 2 番（高橋久志）

部長から人件費、特別職の関係について答弁がございましたけれども、まとめて12月、本来的な関係でいえば、5月会議で可決したものを、やはり補正的に12月でまとめられるという、そういう手法じゃなくて、6月のこういった補正予算の中にしっかりと対応していくというのが本来の姿じゃないかなと私は思うんですけれども、それは十分研究されてしかなるべきじゃないかなと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○議長（小林哲雄）

行政推進部長。

○行政推進部長（石井 護）

その部分については、議員おっしゃるとおり、研究していきたいという。

○議長（小林哲雄）

ほかに質疑ございますか。

8番、山田貴弘議員。

○8番（山田貴弘）

8番、山田貴弘です。13ページの地域防犯力向上事業費ということで200万計上がされております。今回のこの補正予算の大きなポイントというか、私から見た感じで、補正予算に対するのが予備費対応であるというところに、ちょっとなぜなのかなという。ここら辺の防犯力向上事業というのは、もともと道路ができるというのはわかるわけだから、ある程度、事業年数の中で予算化されているのかなと思っていた事業が今回補正で上がってきているという。要するに町と県はどんな話し合いをしているんだというのが今回の予算を提示する中で物すごく感じているという。全てが事後対応になっているという。間に挟まれて、町側も苦しいのはわかっています。信号の問題、停止線の問題、防犯灯の問題、いろいろな問題、町民のと板挟みになって、やれ切れない部分というのは十分わかっているんですが、本来であれば、防犯灯というのは町なんですけれども、道路の環境ですよ。当然、これは今、通ってみても真っ暗な状態で、どこに電気があるんだという、一部交差点の部分には電気があるというような説明がありましたけれども、自分からすると、ないに等しいなというところで、そこら辺の県との調整がどうなっていたのか。何で今回、こんな時期に補正で、まして予備費で挙げてきているというところに、ちょっと計画性がないなという、正直言って思うんですが、そこら辺の見解、町から答弁をよろしくお願いします。

○議長（小林哲雄）

町長。

○町長（府川裕一）

今、山田議員が言われたとおりです。我々のミスです。事前調整がきちんとできていなかったということで、また、今回、停止線のほうから話をさせていただきますと、信号機設置は、いろいろあらゆる手を使って、同時開通とともに、信号も設置できるように、県、警察、県警にもお願いには行っていたんですけれども、それ

がかなわず、最終的には、今年度中には県もつけていただけるということで、できるだけ早く、今年度中という、来年3月までありますので、それが1日でも早く信号をつけてもらえるように、また、改めて早期設置をお願いしていきます。

防犯灯の件についても、事前に土木との調整がきちんとしておけば、非常にセットでできたと思います。それは町としての県との事前調整が不十分だったと認めざるを得ないと。

今回、改めてでき上がってみたときに、確かに本当に暗い、危険というのはすぐ感じ取った部分において、急なあれですけれども、すぐ対応しなきゃいけないという部分で、できる部分から、まずは設置をしていこうと。完全に全部全てが設置できるまでには、想定できませんけれども、地権者の合意が得られる部分のところからきちんと防犯上の安全対策はやっていきたいということで、確かに急遽、予算編成をしたと受け取られてもしょうがないと思っています。

以上です。

○議長（小林哲雄）

町民サービス部長。

○町民サービス部長（山本 靖）

町長がおっしゃったように、本当に調整不足ということで、ただ、調整不足をなるべく早く解消したいということで、今回、補正予算で対応させていただきました。

今現在、山北開成小田原線については、西側の歩道の部分が一部できていない、暫定供用開始という形の位置付けになっています。ということで、安全確保のために行う防犯灯の設置も、東側の歩道のみ、それもつけられる範囲ということで、民地につけます地権者の方との交渉ができるところからつけていきたいと。そのつけ方についても、町でつけられないところについては、県と調整した中で、両者でなるべく安全確保ができるような暫定的な形でつけていきたいという形で今話が進んでいます。

将来的には、何年か後に、今、用地買収ができていない箇所も含めて、完全開通の折には、南部地区ほどの明かりはなかなかつけられませんが、主要道路、開成中央通りとしての位置づけとして、ある程度の明かりを両側に保てるような形をつけていきたい。今回の防犯灯の設置については、基本的に暫定的に設置するという形で考えています。

○議長（小林哲雄）

山田議員。

○8番（山田貴弘）

8番、山田貴弘です。ただいまの説明でわかりました。ぜひ、安心・安全なまちづくりのために努力をしていてもらいたいというところでお願いします。

もう一点、13ページ、同じくなるんですが、災害対策費として、情報伝達体制強化事業費ということで、防災ラジオの購入等が先ほど課長より説明がありました。今回、333台ですか。応募に対して現況ニーズというのですか、そこら辺、町民

からの買い求めるニーズという部分では、どのような評価が上がって、購入するときに、これでちゃんと無線が聞こえるようになるわとか、いろいろなコメントが出たかと思うので、そこら辺、今回補正の中で予算を出していますが、そこら辺の経緯というものを説明をもらいたいと思います。

○議長（小林哲雄）

町民サービス部長。

○町民サービス部長（山本 靖）

それでは、山田議員の質問にお答えします。当初１００台ということで、昨年、ある程度１，０００台を予定している中で９００台ほど、公用の部分も含めて、９５０台ほどという設置だったんですが、ある程度それで要望は受けられたのかなという想定で、当初１００台という計画だったんですが、４月当初から募集をかけたところ、予想に反して３００台を超えた数ということで、やはり昨年設置された方がロコミで便利だよという話で、こちらの予想より多かったのかなということで、この数字になったのかなと思います。

ただ、残念ながら、アナログ方式の防災無線を使った防災ラジオですので、使用期限については、それほど遠くまで、はるか先まで使えないという限定でありますので、町のほうとしては、今回限りで防災ラジオについては打ち切りたいなど。そういった意味で募集を早目にかけて、期間も長目にとったので、ある程度町民の要望は受けられたのかなと思います。

全世帯６，０００弱ですので、そういう意味で、あわせて１，２００強ですから、２割前後の人が防災ラジオを購入していただいたということで、災害時の伝達の役には立つのかなと考えています。

以上です。

○議長（小林哲雄）

山田議員。

○８番（山田貴弘）

８番、山田貴弘です。実は言うと、防災ラジオ、自分もほしくて行ったら、もう売り切れたという状態だったもので、今後、もしそういう声が上がっていったときには、増幅というのですか。機械を新たに購入できるような体制というのものも、ぜひ考えていってもらいたいなということで、今回の防災ラジオの早期の募集と、思った以上に好評だったということで、成果なんだなということで了解いたしました。

○議長（小林哲雄）

１番、菊川敬人議員。

○１番（菊川敬人）

１番、菊川です。１３ページの経常的一般管理費で、先ほどの説明で、３８０万１社還付されたということでありますが、この詳細について、もう少し教えてください。

○議長（小林哲雄）

税務窓口課長。

○税務窓口課長（鳥海仁史）

税等還付金の３８０万の詳細というお話でございますが、こちらにつきましては、６号法人の会社１社が、予定申告の中で予定納税をされていたわけですが、これが今年３月に事業年度閉まりまして、５月の段階で確定申告をなされたわけですが、この中で３７０万ほどの還付が発生したということでございます。これに対しまして、還付加算金をおつけいたしまして、３８０万ほどという内容となっております。

○議長（小林哲雄）

よろしいですか。ほかに質疑ございますか。

（「なし」という者多数）

○議長（小林哲雄）

ないようですので、続いて討論を行います。討論のある方いらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○議長（小林哲雄）

討論はないようですので、採決を行います。

議案第２４号 平成２６年度開成町一般会計補正予算第１号について、原案に賛成の方の起立を求めます。

（起立全員）

○議長（小林哲雄）

お座りください。起立全員によって、可決いたしました。